

こうげい

誠実 元気
信愛 規律

●ご挨拶

学校長 松本 光正

本校に着任して3年目を迎えました。昨年度に引き続き、本校の教育活動に対して変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。本校では、近年、進学率が70%を越え、中でも大学進学が全体の40%以上となっています。こうした状況を踏まえ、生徒に確かな学力を身につけさせることが重要な課題ですが、同時に本校で培ってきた教育プログラムに基づき、優れた技術、高い専門性と柔軟な感性を身につけさせることも重要です。

さて、今年の3月に東京都美術館で開催した卒業展では、生徒の力作が工夫を凝らして陳列され、各作品からは手を抜かず、制作に打ち込んでいることが伝わり、非常に気持ちの良い空間に包まれて鑑賞することができました。

ところで、築地工芸会工芸基金について、平成24年6月6日に東京法務局から一般財団法人築地工芸会工芸基金への移行が承認されました。今まで、在校生に対する奨学金事業、皆勤・精

勤者に対する賞とメダルの授与、資格検定に対する受験料の補助など、工芸基金からの多大な支援は生徒に大きな励みとなっています。また、9階建ての校舎に垂れ下がる懸垂幕は、JR総武線の電車から水道橋付近でひととき目立つもので、工芸高校を広くPRしています。一般財団法人化することで、法的に安定した運営ができるようになります。今後とも一層の「見える化」を推進することになります。過去から受け継いだ重要な財産として、同窓会の方々と相談しながら、大切に運用していきたいと考えています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



卒展入り口から

●第50回中京工芸会

総会のご案内

中京工芸会が発足して、今年は50目ということで、大きな節目の総会です。

東京からも都立工芸高校・築地工芸会等からのご来賓もご来賓頂ける予定です。

▼日時…10月20日(日) 13時～

▼場所…名古屋 料亭 「大森」

名古屋西区城西4-30-3

TEL 052-522-8331

毎年10月の第3日曜日は「中京工芸会の日」です。

場所名古屋の「大森」ということで恒例になっています。

中京工芸会会員の方には事務局より別途案内状が郵送されます。50回目の節目です。奮ってご出席下さい。

中京工芸会副会長

五反田 稔(昭35・M卒)

●「関西工芸会の集い」のご案内

今年の「関西工芸会の集い」は、左記の日程で詳細の検討を進めています。

▼日時…11月9日(土) 大阪にて

詳細は後日案内状にてお知らせしますので、奮ってご参加下さい。

関西工芸会会長

丸山 士郎(昭43・A卒)

プラスチック
金型製作

真空成型型
プレス抜型

圧空成型型
トムソン抜型

企画
デザイン

— 試作 — 本型製作 — 成形立上げ

V-MOLD

バキュームモールド工業株式会社

本社・〒131-0031東京都墨田区墨田5-23-11

tel 03(3614)1556 fax 03(3614)1559

埼玉工場・〒340-0831埼玉県八潮市南後谷107-5

tel 048(932)5440 fax 048(932)3960

—詳しくはホームページで—

<http://www.vmold.co.jp/>

e-mail

caduser@vmold.co.jp

宝石・石止全般

株式会社 タカギ彫金工芸

代表取締役

高 木

実

(A・48卒)

〒111-0054 台東区鳥越1-23-5

電話(03)3866-0961(代)

事務局より

◎一般寄付・ご芳名

本年3月19日以降、本年8月12日現在、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。(順不同・敬称略)

金澤静夫、渡辺敏夫、田中耀信、伊藤正好、川本昭一、柴田良雄、鈴木慶一、猪股新治、山根あおい、林昭弘、石川昇二、馬場和夫、木村奈央、桂盛仁、滝澤方美、小島貴代子、大林眞理子、増田孝機、金井昭三、上床亦、大滝史博、佐味貫義、牧野昇、川瀬求女、高橋實、遠藤佑治、安藤昌二、大野武夫、竹内孝太郎、穂積晴之、福田重信、下山田信一郎、関根伸司、藤原高遠、五十嵐賢治、梶広幸、高島順、内山孝、野本能義、桑原幸雄、片岡良亮、阿部達夫、山下泰宏、松井辰弘、内藤亮一、山木知二、岡田勇、村上由香子、莊司三郎、渡辺義太、青山龍雄、吉口一広、金親二郎、山田二三雄、中山清、服部綾佳、中代源次郎、高橋雄作、五反田稔、橘正春、綱島昭夫、時本恵紹、天川博邦、櫻井敏之、佐野一義、石島楓、竹内浩、岡田里美、室谷邦夫、佐藤幸夫、糸川富子、橋本恵光、高橋裕次郎、浅井将治、矢嶋弘志、田代智隆、酒井寛、小池博、新井昇、鈴木陽子、井上正治、丸山士郎、荒井拓哉、小林久展、遠

藤昇、望月紀宏、中尾正直、若菜英雄、浅岡輝彦、鈴木宣喜、松井眞矢、深野俊樹、穂積敏夫、小平確、矢吹郁雄、西田篤生、西井和男、山田一彦、時田佳代、藤井喜代子、浦野至誠、井戸健輔、清野直子、満留次男、中村保弘、鈴木理継、東松国雄、今野健三、柴崎力栄、福田哲夫、佐藤守克、鈴木季晴、中島隆、池田修一、藤田進、湯沢宋江、星野喜一、佐藤勇、小田部邦彦

平成25年度累計

二九一、五〇〇円

◆平成25年度

第1回理事会報告

平成25年5月14日午後6時から母校会議室において、平成25年度第1回理事会が開催され、出席した29名の理事により、次の報告、審議、承認が行われました。

1. 平成24年度決算報告・平成25年度予算(案)が事務局から報告があり承認されました。

●報告の要点

(1) 一般会計収入は、会費、一般寄付金、広告料の合計で、予算金額をほぼ達成している。

(2) 基本金収入は、百周年記念誌の売上、54,000円が入っている。

(3) 平成25年度予算では、新たに中京、

関西工芸会の費用を設けている(前回理事会で承認済み)。

(4) 経理状況の説明

① 会費収入は、本年卒業生の会費収入を含めて、ほぼ前年同等の収入があった。

② 本年入会者

全日制A…20名、定時制A…3名
全日制M…19名
全日制F…36名、定時制F…13名
全日制P…24名、定時制P…15名
D…25名 合計…155名

2. 「工芸基金」報告

細江会長(工芸基金理事長)より、評議員会、理事会の経過報告があり、工芸基金は工芸高校のために使うのが基本であることを前提にしたうえで、活用を吟味することが重要であると述べました。その後、各理事により活発な意見交換が行われ、次の提案がされました。

① 同窓会もしっかり意見を出し、評議員は同窓会の意見を評議会にきちんと出す。

② 工芸基金の予算作成に同窓会が加わることを提案する。

3. 「OBギャラリー」報告

「OBギャラリー」検討委員から、準備の進捗が報告されました。

各科のOBギャラリー委員は、津久井先生のご自宅にあった作品の作者の、寄贈、要返却の意志を次回理事会(平成25年10月・11月予定)ま

でに確認し、作者不明の作品の作者を調べることを確認しました。

4. 平成26年度役員の確認

(1) 平成26年度当番科は、I科で承認されました。I科は次回理事会で新会長を発表する予定です。

(2) 下記の理事から退任の申し出があり、承認されました。(敬称略)

A科…安原敏郎
I科…鈴木慶一
G科…虎谷豊二、高橋政美

広告制作会社 たきグループ グループ創業者 滝澤方美 O3(昭29)

(株)たき工房 (株)たきホールディングス (株)日本コマージュフォト (株)ブラン
(株)ワークアップたき (株)Odds Design (株)インパクトたき (株)たきCI (株)タクト



TAKI GROUP

株式会社たき工房

本社:〒108-0023 東京都港区芝浦3-14-1 インパクトビル3F TEL:03-5484-6400(代) URL:http://www.taki.co.jp

● 校友の活躍

次の方々の個展・出品等がありました。

◎ 個展

～幕末から現代へ～

高村代々彫刻展

高村晴雲（克哉）（昭和34・F卒・故人）

東中野・青蛾ギャラリー

松原伸生藍形染展神楽坂

（昭和59・D卒）

神楽坂アートギャラリー



来場者に作品の説明をする
松原伸生さん



松原伸生さんの手記から

（リパブリック2012年雪柳から抜粋）

藍甕や染め道具が並ぶ自宅の工房は祖父の代から変わることなく引き継がれ、私は毎日父や叔父の長板中形の藍

染め作業を見て育ちました。

その環境の中で自然と「なにかをつくること」への興味や関心は芽生えましたが、幼い頃は自分が長板中形の藍染め技術を引き継ごうといった意識はまだ薄く、商業デザインや、陶芸など違った方面のものづくりに対しての興味を抱いておりました。

ものづくりやデザインに関わる仕事に携わりたいと私は都立の工芸高校へと進学し、そこで三年間やりたかったデザイン全般から陶芸・染色まで幅広いものづくりを学び、大変佳き先生にも出会うことができました。

様々なものづくりの勉強を重ねるにつれ、最初は漠然としていましたが平面的なデザインよりも立体的なデザインへの関心が日々強まっていくのを実感していました。

父の長板中形はモミの木に白生地を張って、型紙で糊を置く作業。正直、私はそれを平面的と捉えておりました。好奇心旺盛な高校時代はあれもやってみたい、これもやってみたいと父の長板中形からはますます気持ちが遠のいていました。

高校卒業が近づくにつれ、今後の就職について具体的に考える時期がやってきましたが父は私に長板中形を継いで欲しいと一度も言いませんでした。

ある日、父の個展の手伝いをする事になり会場へ行くと大変多くのお客様が来場されていました。

その中に藍と白の二色でよく見覚えのある文様の着物姿のお客様がいました。

着物は父の作品でした。

そのお客様は嬉しそうな表情で父にお礼を述べたり、なにかを話している様子です。

そのお客様の美しい着物姿に皆が振り返り、凛とした清涼感と上品さを残しながらゆつくりと会場を後にしました。

その時、平面と捉えていた長板中形は人が着物をまとった瞬間に立体へと昇華することに気づかされたのです。

父は八年前に他界し、今は私が引き継いでおりますが祖父の代からの工程や使う素材など一切変わっておりません。

私はこの長板中形を守り、これからも更に技術を磨いて多くのお客様に喜んでもらえるような作品作りに励みたいと活動しています。

◎ 出品

第31回木葉会展

新宿区立区民ギャラリー

・ 油彩

石川 省吾氏（昭和12・P卒）

「帽子」・「花」・「人物」

第42回伝統工芸日本金工展

日本橋三越本店 本館6階

美術特選画廊

田口 壽恒氏（昭和34・A卒）

人間国宝

「鍛籠銀水指」

桂 盛仁氏（昭和39・A卒）

人間国宝

「椿香盒」

大沼 千尋氏（昭和45・A卒）

「接合せ水滴」

木村 太郎氏（平成9・A卒）

「鍛籠銀亀甲羅鉢」

第47回日本伝統工芸染織展

松原 伸生氏（昭和59・D卒）

「長板中形着尺」「立浪文」

第61回 創型展 2013

福本 晴男氏（昭和35・F卒）

「悲しみが立つ」・「はな一輪」

上野公園・東京都美術館・ギャラリー



創型展会場にて福本さん



悲しみが立つ

仏像彫刻家

渡邊

賢二さん

(元M科教員)

元M科教員の渡邊賢二先生（電気工学）が、仏像彫刻の世界で活躍されており、注目を集めています。

本年6月1日～9日、東京都美術館で開催された第61回創型展では、最高賞の「創型会賞」を受賞されました。受賞された作品を中心に、最近のご活躍を紹介します。

仏像彫刻家として

昭和52年頃から彫刻を始め、次第に仏像の力強さ、優しさに魅せられ、現在は創型会に所属し仏像制作を行っています。また自宅で彫刻教室を開き、彫刻の指導をしています。

『ほとけ 考』

第61回創型展「創型会賞」受賞作品について

今回は十二神将と仏頭の制作にとりかかり手や足も彫り、漆で金箔を押してみました。

（かぶれながらの作業が続きました）
これらを空間に浮かし、仏の姿（去来）をどうしたら表現できるかと考えてみました。

会場では、どのような発想であのよう斬新な姿になったのかという話もありましたが……逆に、観るものに投げかけるような題名と作品になったのかも知れません。

仏像彫刻への思い

（2011年発行「ライフワーク」掲載記事から抜粋）

「人間誰しも悩みや願いごとがあるんだな、と仏像に手を合わせる人の姿を見て思いました。それまでは動物などの小さい作品も作っていたのですが、彫るなら仏像を本格的に彫りたいと思ったんです。それからは独学で勉強しました。最初に作った大物は、奈良東大寺の仁王像です。仏像の模刻なので、本物に似せるために何度も同じお寺に足を運ぶこともありますね」

「今、世にないものを作りたいという思いがあります。十一面観音のようにいくつもある仏像の顔を能面にした“能面観音”や、手に持っている蓮の花や水瓶を能面にしてみたらどうかとか、色々と考えています」

「計報があつたとき、亡くなった方が手に抱えてお伴できる小仏像を彫ることがあります。自分の両親が亡くなったときも、故郷に向かう車の中で一心に彫り続けました。教師時代の生徒が自分の父親の死を目前にして自分で父にあげる仏像を彫りたいと習いに来たこともありました。時間をかけることはできないので完成度は高くはありませんが、そうやって心の拠り所とな



第61回創型展 創型会賞 『ほとけ 考』



申神将（十二神将）



巳神将（十二神将）



受賞した作品と渡邊先生

る仏像を作れることも彫刻家として幸せなことだと思います」
「仏像は、歳を重ねても、場所をとらずにどこでも彫れる良さがあると思います。自分の作品制作はもちろんですが、今後とも人の繋がりを大切にしていけたらと思います」

生徒と取り組んだ思い出

渡邊賢二先生が、工芸高校で教鞭をとっておられた頃の思い出を語っていただきました。

『神輿制作』

最後のクラス担任のとき、クラス全員で放課後、金属で制作にとりかかりました。卒業式の前日に生徒が完成した神輿を担ぎ出し、学校近辺を練り歩いたのには驚きました。

M科ではそれ以来、協同制作として毎年三年になるとクラス全員で作るものを決め、卒業制作に取り組んでおり、今も続いているようです。

この活動が「東京新聞教育賞」を受賞し、2001年5月8日の東京新聞に掲載されました。その記事の中から、生徒の感想文を抜粋して紹介します。

―制作の感想文―

40人（男子21人・女子19人）全員の感想文に共通することは大変だったけれど、その分出来あがったときの喜びは大きかった、という達成感にあふれていたこと。

『神輿を制作するにあたり、なんといつても屋根に悩まされた。屋根にある微妙なカーブをだすのが難しかった。いかにしてその問題を解決すべきか、みんなで考えていくのが楽しかった。たくさんの人がいれば、いろいろな考えが出るし作業しているとその人の

意外なところを発見して、尊敬した。神輿が卒業で私たちの手からはなれ、たくさんの人に见られている時、急に（神輿が）偉く見えた。なぜかさわれない感じがした…』

『この神輿制作はとても貴重な体験をしたと思う、初めは何で神輿を作るんだと思っていたが自分もクラスの一人として頑張ろうと思った。僕は溶接班になり、台や枠などを制作した。この現代に昔からの伝統品を自分たちの力で作り上げたことがとてもよい思い出になった。学校を訪れるたびに見たいと思う』



神輿を担ぎだし学校近辺を練り歩いた

『校歌の板彫り』

M科の生徒、職員が全員で一人一文字を彫りあげ、体育館に取り付けました。1枚1枚の板の裏には、彫った人のサインや工芸に対する思いなどが書

き込んであります。



完成した校歌の板彫り

『工芸観音』

クラブト部員とM科の生徒有志による三カ年計画で制作し、1年目は原型造り・寄せ木造りの模型制作・木取り、2年目は荒彫り・中彫・仕上げ、3年目に台座造りと着色・装飾を施しました。完成した観音像は6階に展示してあります。

（像高…145cm・台座…96cm・総高…241cm）



三カ年計画で制作した工芸観音

『千手観音』

文化祭で、M科は装飾が担当で千手観音（250cm）を作りました。見学に来られた方が、各科で使用する工具名のボタンを押すと、千手観音が手に持っている工具がランプで表示される工夫を施しました。ランプは、A科Ⅱ緑、M科Ⅱ紫、I科Ⅱ赤、G科Ⅱ黄、D科Ⅱ青になっており、千手観音が手に持っている工具がどの科の工具か判るようになっています。



大勢の来場者がボタンを押していた

以上のような物造りの思い出があります。

▼百周年記念誌のご購入を！

『都立工芸一〇〇年の歩み』

第44回造本装幀コンクール

日本書籍出版協会理事長賞 受賞

◎頒布価格 6000円（送料共）

クラス会

●35機会（昭和20年本科M科卒）

この度は卒業50年を記念して制作した「思い出の記」出版15年に因むクラス会でした。77頁の小誌ですが、19名の寄稿者夫々の「思い出の記」は、在学4年間の出来事の貴重な記述です。出来事を項目別に並べ記述人数を示してみると、勤労動員関係8名、空襲・B29空中戦8名、桜蔭女学校6名、吉浜臨海学校6名、軍事教練6名、授業風景5名、大山遭難4名、上級生の制裁3名、金毘羅様3名、天突体操2名などでした。右の出来事を当時に戻って思い浮かべるままに、語り合うままに3時間余りの時間が過ぎました。



35機会（昭和20年本科M科卒）

出席は齊藤 稔、酒寄昇一、田中清一、庭屋健二、松本敏明、と私の6名でしたが、切れ目のない会話を楽しみ、散会しました。
（鈴木規尹）

●昭和28年全日制A科卒

六十周年クラス会

去る6月5日右記クラス会を担任の安原先生をお迎えして日比谷松本楼で11名が出席して開かれました。私達は小学校時代が戦時中と重なり戦後の混乱のなか学制が今の6、3、3、制になって初めての卒業生で昭和28年に工芸を卒業しました。既に17名が鬼籍に入り今回のクラス会も鈴木皖司君の多大な寄付をいただいて開かれましたが鈴木君本人は病氣治療のため出席でき



昭和28年全日制A科卒 六十周年クラス会

ませんでした。
これから健康に留意し再会を約束して散会しました。
（浅見欣司）

●昭和29年定時制M科卒クラス会

傘寿1年手前の今年、10名参加予定のところ、出発直前で1人が腰痛で不参加となり、総勢9名で、長野県わらび野温泉秘湯の旅をしました。ついに参加者が10名を切るという事態で淋しくなりましたが、酒量はそこそこ進み、楽しい旅となりました。在校中の想い出話に花を咲かせ、広々とした貸し切りバスは結構にぎやかでした。
（田嶋照朗）



昭和29年定時制M科卒クラス会

●昭和35年全日制M科卒

古希祝いクラス会

昭和35年度卒業全日制M科の古希祝いクラス会を3月22日に、小野正喜先生をお招きして、総勢30名が参加し、水道橋後楽園飯店で行われました。卒業後52年ぶりの再会となった級友もいましたが、あつという間にタイムスリップし昔話に花を咲かせていました。また、クラス会に先立ち母校教員・諏佐先生のご案内で母校を見学させて頂きました。27名の参加者は母校の近代化された教育環境と女子生徒が50%を超えているのに驚嘆していました。クラス会後は母校近くのカラオケ店で旧交を温め流れ解散となりました。
（金井昭三）



昭和35年全日制M科卒 古希祝いクラス会

●昭和38年全日制D科卒

図案科十二期クラス会

平成25年6月2日(日)～3日(月)に、鬼怒川温泉はんりの宿「男鹿園」で2年ぶりのクラス会を開催しました。今回は卒業50年目に当たり、記念として計画しました。担任の日野先生がご都合で欠席されましたが、全員で12名の仲間が集結しました。

当日は、会場のホテルに集合し、久しぶりの歓談、温泉でくつろいであらからクラス会をスタート。乾杯の後、歓談とあちこちでの和やかな談笑へとつながりました。二次会はカラオケルームで大いに盛り上がりました。その後、幹事の部屋に集まり、更に飲み、かつ話と笑いが続き夜の更けるのを忘れて



昭和38年全日制D科卒 図案科十二期クラス会

楽しみました。

9年前に還暦クラス会として箱根で開催し、今回は5回目を迎えますが、相変わらず仕事で頑張っている仲間、年金生活でマイペースの仲間、趣味やボランティアをやっている仲間とそれぞれエンジョイされている様子でした。

翌日は緑の美しい鬼怒川ライン下りを楽しみました。これからも元気でまた会いましょうと再会することを約して散会致しました。(松本 孝)

●昭和39年全日制A科卒

安原先生米寿の会

6月9日安原先生米寿の会を開催いたしました。



昭和39年全日制A科卒 安原先生米寿の会

当日は天気も良く先生の希望で浅草雷門から浅草寺をお参りして、ビューホテル25階で眼下に浅草寺、スカイツリーを眺めながら行いました。集いは年に2回ほど行っていますが、2年後我々の古希、先生の卒寿を合わせて記念の会を行う約束をして散会いたしました。(坂巻 亨)

訃報

前回の会報158号以後、本会宛正式にご連絡がありました方々は、次の皆様です。ご冥福をお祈り申しあげます。

()内は逝去された日です。

澤田喜代志氏	昭13・P卒
於曾健男氏	昭15・A卒 (23・12・)
柴崎清治氏	昭16・M卒 (25・4・22)
大杉基好氏	昭17・M卒 (25・5・17)
倉田能昭氏	昭18・P卒
遠藤博道氏	昭20・P卒 (25・8・4)
菊地秀男氏	昭25・M卒 (25・3・31)
渡辺昭義氏	昭25・M卒 (25・6・4)
金子弘氏	昭26・M卒 (24・10・)
磯部三雄氏	昭26・M卒 (24・11・)
石島昌一氏	昭26・M卒 (25・4・)
本間晴英氏	昭29・M卒 (24・11・23)
伊豆友男氏	昭31・P卒 (25・)
山口邦男氏	昭37・M卒 (24・10・8)

I.F.パートナーズ特許事務所

弁理士 中山 清
(昭33年M科)

〒167-0051
東京都杉並区荻窪5丁目26番13号
荻窪TMビル2階

電話 03-5397-0891
FAX 03-5397-0893

iC用各種タイバーカッター

各種専用機 設計製作

(有)神戸自動機製作所

代表取締役 神戸 道夫
定M13 (昭36)

〒270-0156 千葉県流山市西平井1031-7
TEL.0471-59-6201 FAX.0471-59-5127

株式会社 マツキ

各種金型設計製作

(プラスチック・ダイカスト・プレスおよび成形)

代表取締役会長 鈴木 輝彦
(昭和41・M科卒)

〒132-0031 東京都江戸川区松島2-1-7
電話 03-3656-5766 FAX 03-3656-5675

母校だより

コンクール等の入賞者・成績

全日制

ART CRAFT

●色彩検定

3級 3年 1名合格

MACHINE CRAFT

平成25年4月5 資格取得状況

●危険物取り扱い扱い乙種第2類

2年 10名合格

●危険物取り扱い扱い乙種第3類

2年 11名合格

●計算技術検定1級合格

2年 飯塚和海

3年 池田佳奈芽 高野真陽

●機械製図検定

2年 2名合格

3年 13名合格

●色彩検定

3級 2年 2名合格

INTERIOR

●色彩検定

2級 3年 1名合格

3級 2年 1名合格

GRAPHIC ARTS

●色彩検定

2級 2・3年 5名合格

3級 2・3年 4名合格

DESIGN

●わくわくどきどきものづくり工作教室

ポスター、パンフレット原画作成

3年 山内富江

●(冊子)都立高校に入学を希望する皆様へ

表紙原画作成 3年 伊藤彩歌

挿画作成 3年 鈴木南奈

2年 田邊香奈子

●25年度学校要覧

表紙原画作成 3年 値賀風花

ポスター、パンフレット原画作成

1年 和田幸恵

パンフレット原画作成

1年 山本万貴

3級 2年 31名合格

●レタリング技能検定

2級 2・3年 13名合格

3級 2年 5名合格

●色彩検定

2級 2・3年 9名合格

3級 2年 5名合格

定時制

●第7回建築系高校生対象コンペティション

(中央工学校／中央工学校OSAKA主催)

都立工芸高校内 築地工芸会・文京区本郷一―三―九 電話〇三(三八一四) 八七五五呼

優秀賞 3年I 及川弘貴

奨励賞 2年I ジョリー伸志

3年I 神明香利

村山実紗子

●第4回高校生対象コンテスト

『夢のマイルームコンテスト』

最優秀賞 3年G 内山佳美

佳作I 3年I 阿部湧介

3年I 及川弘貴

神明香利

奨励賞 3年I 塩澤菜生

3年G 松尾芳恵

水嶋一綺

―部活動報告(定時制)―

バドミントン部

●平成25年度東京都高等学校体育連盟

定時制通信制春季大会 兼 第14回

全国高等学校定時制通信制大会東京

予選

男子シングルス 3位

4年I 井尻祐哉

全国大会出場決定

剣道部

●平成25年度東京都高等学校体育連盟

定時制通信制剣道全国大会

4年I 土屋香奈 東京都代表決定

テニス部

●平成25年度東京都高等学校体育連盟

定時制通信制春季テニス大会

女子ダブルス 準優勝

3年I 塩澤菜生

3年G 椎野あやこ 組

●平成25年度東京都高等学校体育連盟

定時制通信制夏季シングルス大会

女子シングルス 優勝

3年I 塩澤菜生

平成25年度 工芸祭

平成25年11月2日(土)・3日(日)の2日間、母校に於いて「工芸祭」が開催されます。後輩の勉強の成果をどうぞご覧ください。

併せて、クラス会を開催するクラスも増えているようです。

「投稿を歓迎します。」

*皆様の個展・展覧会出品・受賞、新聞で紹介された等、ご活躍の様子をぜひお知らせ下さい。写真、案内状等もできるだけご提供下さい。

*クラス会の様子もお知らせ下さい。
●締切・原則として、2月末、7月末、10月末となっています。

郵送先・築地工芸会(工芸高校の住所)
メール送付先: taquya@nifty.com